

第3回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	資料 3-1
平成30年9月6日	

第2回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	資料 3-1
平成30年7月5日	

第2回 歯科技工士の養成・確保に 関する検討会

東洋医療専門学校

歯科技工士学科

杉田順弘

歯科技工士養成施設の概況

昭和54 財団法人 東洋歯科技工学院 開校
昼間学科 2年制 定員30名
21期生まで教育

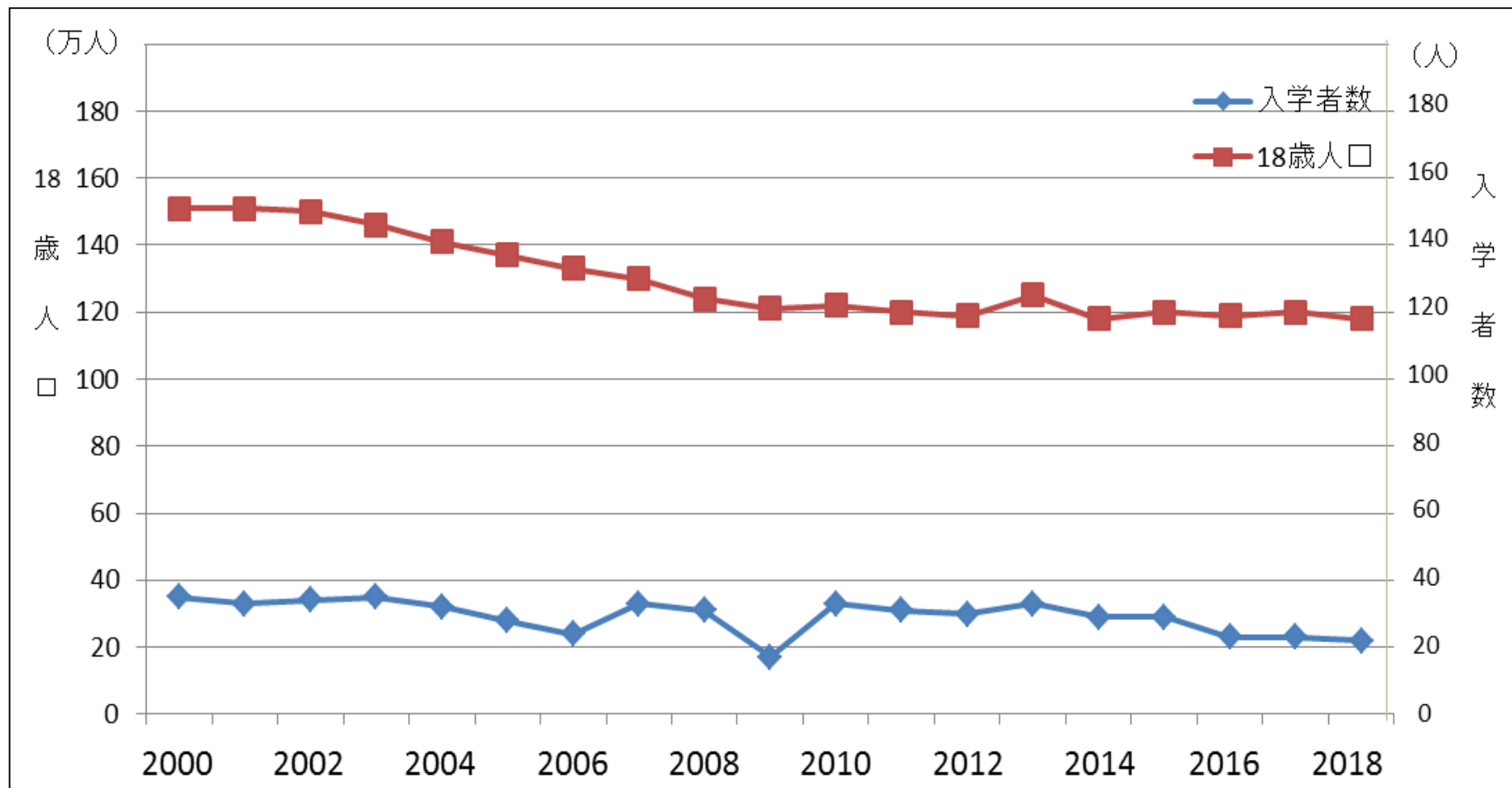
平成12 学校法人 東洋医療学園
東洋医療専門学校 開校
歯科技工士学科 昼3年 30名
救急救命士学科 昼3年 80名 夜3年 40名

平成14 鍼灸師学科 昼3年 30名 夜3年 30名

平成17 柔道整復師学科 昼3年 60名 夜3年 60名

歯科技工士養成施設の概況

歯科技工士学科 入学者数



学生の確保について

◆ 出願者の減少

経済的理由（3年制に魅力は感じているが）
ネット情報（低賃金、長時間労働、離職率）
家族・保護者の反対による入学辞退

◆ 広報的対策

高校訪問・進学ガイダンスの参加

ホームページ・オープンキャンパスでの情報発信

出願者減少の**対策**はするが・・・

高校訪問・・・業界の労働環境が言われる

進学ガイダンス・・・他業種に希望者が集まる

ホームページ・・・やりがい、社会的重要性は発信
できるが労働環境は理解が得られない
ことが多い

オープンキャンパス・・・保護者同伴の場合は業界の
情報を得ている場合が多い

広報的対策では限界がある

学生の質について

◆ 基礎学力が低い学生が多い

これまで勉強の習慣がない
読解力・作文が苦手
選択科目以外で習っていない

◆ 目的意識が希薄

入学理由は「楽しそうだから入学してきた」
将来像が描けていない

◆ 素直だがこだわりが少ない

考える過程を持たず安易に答えを欲しがる
成功体験が少ない→活力を与えないと進めない

目的意識と学力が低くても入試で選択できない

教育内容について

科 目	教科	時間	1年		2年		3年		備 考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目	外国語（英語）	60		30	30				専門英語、外国人講師によるコミュニケーション英語
	造形美術概論	15	15						
	関係法規	15			15				
	歯科技工学概論	50	50						
	歯科理工学	220	84	74		62			講義 158 時間、実験 62 時間
	歯の解剖学	210	80	40	30	25	20	15	講義 40 時間、実験 170 時間
専門科目	顎口腔機能学	60			40	20			講義 15 時間、実験 45 時間
	有床義歯技工学	480	130	150	100	25	45	30	講義 60 時間、実験 420 時間
	歯冠修復技工学	480	120	100	140	50	40	30	講義 66 時間、実験 414 時間
	矯正歯科技工学	45			45				講義 15 時間、実験 30 時間
	小児歯科技工学	45		45					講義 20 時間、実験 25 時間
	歯科技工実習	520	10	20	30	210	60	190	臨床模型実習、CAD-CAM、オールセラミッククラウン
選	選択必修科目	300			20	30	50	200	国家試験対策
その他選択必修科目	課題研究	110					110		研究発表（日本歯科技工学会、卒業研究発表）
	顎顔面補綴	140					140		講義 38 時間、実習 102 時間（全技協認定時間）
	公衆衛生	15					15		環境問題等
	学外研修	60	8	4	4	40	4		オリエンテーション・泊研修、海外研修、企業見学
	情報処理技術	60		20	20		20		Word、Excel、PowerPoint
	統計学	15				15			統計学
合 計		2900	497	483	474	477	504	465	

進路について

◆ 勤務先

歯科技工所(80%)、歯科医院(20%)

◆ 本校の離職率について (2018.3現在)

卒後1年目(2017.3卒業生) 0 %

卒後2年目(2016.3卒業生) 14.3%

卒後3年目(2015.3卒業生) 8 %

ネット等では卒後3年以内の離職について
良くないデータが出ている。

◆ 本校での対策

臨床現場見学により早い段階での意識付け

※大手技工所の努力で卒業生の定着率向上もある

検討会に期待すること

制度的な改善が必要

労働環境の改善（業界として）

低賃金、長時間労働、離職率の改善

臨床実習・臨地実習の必要性（養成機関として）

意識付け・モチベーションの持続(DO対策)

臨床的能力が卒後早期離職の改善

**（早期に臨床の現場を見せることで患者を意識して
取り組む）**

制度的な**改善後に期待**できること

- ◆ 労働環境で家族・保護者の反対による**入学辞退の減少**
- ◆ 業界では離職率の低減による**歯科技工士の確保**
- ◆ ネットによる改善後の情報・業界の**魅力の拡散**
- ◆ 現在は3年間の学費がネックになっているが**魅力ある業界**であれば出願は十分期待できる